

人生巡禮

近藤惠聰

屈從と妥協の中に

これが現實の姿であり

×

運命に反抗してゆくものは

けれど強く生きて行くものには

×

悩みを悩みとして体験する處に

現實から理想へ

×

唯もが理想の大を知り

けれど弱い人間達は

凡ての人間が生きて行く

社會相なのだ

反逆兒の名を以て葬られる

人生の悩みがある

人間としての價值が生れるのだ

生命の血潮はとめどもなく高調してゆく

涅槃の境界を慕ふのだ

罪の地上を永遠に遍歴する